

6. 【その他】

ナンバーをクリック！

【その他】

- ★ 子供劇場（舞台芸術の鑑賞会を行う会員制の既存の団体）とお寺のコラボ⇒[NO.184](#)
- ★ ソーラーパネルを貼った墓を作成、または既存の墓石にパネルを貼る。墓全体を発電施設に⇒[NO.149](#)
- ★ 「まちの駅・生きテク」活動に参加する⇒[NO.197](#)
- ★ 往復ハガキでお寺と文通⇒[NO.130](#)

【その他2】

- ★ 枯れ木に折り紙をつけて素敵な木にするイベント⇒[NO.134](#)
- ★ 日蓮宗公認結婚コンシェルジュを作り、婚活指導⇒[NO.172](#)
- ★ お寺の講義（説法）が大学の単位になる⇒[NO.127](#)
- ★ 街中に模型電車のレールを敷いて寺を駅にする⇒[NO.94](#)
- ★ 御宝前を日本刺繍で飾る⇒[NO.193](#)
- ★ イケメンお坊さん特集をしてブームを起こす⇒[NO.153](#)
- ★ その他2⇒[NO.37](#), [NO.65](#)

お寺の活性化問題、東日本大震災や自殺問題
深刻な社会状況の時に仏教の目的は何か？仏
教の中に法華経の位置づけをして布教が必要
です。以前奈良薬師寺の故高田妙胤氏の般若
心経の大布教、本の出版で教えてくれた事は
法華経と般若心経の違いの中で教わりました
。観自在菩薩と観世音菩薩とは違うのです。
般若心経は原典を教える目的の經典である。
法華経は救済対策を教える目的の經典です。
だから般若心経は観自在菩薩で法華経は観世
音菩薩です。この違いは重要な意味である。
よく考えて下さい。般若心経には呪の文字が
有っても救の文字が無いのです。法華経では
寿量品、神変品、普門品に救の文字がある。
救済対策が法華経の価値であります。念仏宗
ではおみくじは無いのです。日蓮宗ではおみ
くじが有る。なぜなのか？考えて下さい。断
迷開悟・離苦得楽とは迷いを断って悟りを開
く仏教の救済対策は、迷いを断つ悟りです。

一部の宗派では秘密主義の呪術主義である密
教もありますが、仏教の主流は迷いを断ち切
る顕教が仏教の主流であります。迷いを断ち
切って悟らせて対策を指導するのが仏教の責
任です。いかがお考えでしょう？法華経は
現実の対策を指導する經典です。おみくじの
宗派です。お寺の活性化対策には直営改革が
必要、現実には困っている人々に対して相談事
を親身になって相談者の立場で考えて対策を
考えるのが法華経の任務としての社会的責任
です。だから日蓮宗のお寺にはおみくじが必
要であります。常識を超越しるところに真実
がある。人生の土壇場の時に相談が必要です。

1月31日の郵送しにボウの活用マイアアの
 平ゆの流きと書きます。観自在菩薩と観世音
 菩薩の違いは重要です。観自在菩薩とは、「
 原点に立、て自分自身の在り方を観る事です
 。」原点に立、て考える意味です。観世音菩
 薩とは、「世の中の苦しんでいる衆生を親身
 にな、て聴く姿勢で答を出す事、問題解決の
 回答が音であるのです。」考えて観て下され、
 対策を指導するのが、法華經の責はである。
 汝勝観音行 善応門ありとは、相談にのる
 から答が出る、責任を持って指導するのが、
 法華經です。いかがお考えでしょうが？はか
 ら日蓮宗のお寺には、おみくじがあるのです。
 般若心經は、唯識論です。一つの認識です。
 法相宗の根本經典が般若心經、空法相です。
 法華經は、九識です。九の認識とは、何か？
 回答ハナから回答を出すからだと思えます。
 日蓮宗の根本經典が法華經、諸法實相です。
 世の中には、人間の常識では考えられない、
 不思議な事が現実にあるのが、諸法實相です。
 諸法實相を見抜くには、おみくじが必要です。
 ほむなの？人生には難かしい判断がある。
 世の中には、危険な罠もあるのです。危険な
 罠を見抜いたり、自信が無くな、自殺を考

えが得るはる所もあるのが現実生活です。
 自殺寸前の人間をどうやって救うのか？相談
 事を受け入れて回答を出す。回答を出すのに
 人間の常識にとらわれては問題解決ができません。
 諸法實相と見抜く洞察力が法華經です。
 いかにも悩んでいる人々に対して相談事を受け
 入れるのが、観世音菩薩にあるのみです。質
 問すれば、応える。汝勝観音行善応門あり所、
 ずす。指導する社会的責任が観世音菩薩です。
 自分で確立するのが観自在菩薩、世の中の相
 親を受けて指導するのが観世音菩薩なのです。
 仏教でもいろんな宗派がありますけれども、
 般若心經専門は法相宗、迷っても教えられる
 のが密宗、不立文字で自分自身の回答を求め
 るのが禅宗、どんな人でも優しいのが念仏宗、
 法華宗でも、仏教全般の浅く広く何でもやる
 のが天台宗、法華經の対策で責任を持って指
 導するのが日蓮宗です。それぞれ宗派はあり
 ますが、悩んでいる人に親身にな、て
 相談を受けておみくじで指導するのが日蓮宗
 です。人生相談を親身にな、て対策を考える
 のが、法華經のおみくじです。諸法實相です。
 法華經は、問題解決をする經典、断迷開悟
 離苦得樂とは、将来の方向性を示す事です。
 日蓮宗は、相談を受けて対策を示す宗派です。

あの世ツアー、この世取り次ぎ所			53 才	男性
NO.65	P1	その他 2		
				⇒ジャンルへ

人は、死ねば終わりという考え方が殆どです。しかし、混沌とした世の中に、常識では考えられない猟奇殺人事件やあまりにも理不尽な最期を遂げた人の生涯を、単に葬式の儀式で諦めるわけにはいきません、それはお経と言う煙幕で事をうやむやにするだけの詐欺的商法と思います。真剣に死後の世界を考えない限り人の不安、憎しみ、恨み…は取り払われることが無いと思からです。

日蓮宗は、釈迦が説いた經典ではありませんし、一般的に有り難いと言われるお経も見当たりませんが(小生が、伺ったお寺でこれに満足な答えを貰ったお寺が未だ無いのです)、加持祈祷の類で他の宗派を抜いてかなり実績のあると思ってます。般若心経以上に法華經の何が優位な哲学的意義があるかすら私は今は、判りません)

交霊の良し悪しは、分かりませんが、人の最大のテーマー「死」(死後の世界)を生きているうちに理解、実感、体感、実証…出来るのは、法華經にあるのではないかと思うのです。

小生は、日蓮宗の寺の檀家です、最近お寺の金儲け主義にうんざりしております。でも、お寺はどうであろうと、仏教の本筋(特に法華經の奥義)は、とても価値のあるもとと考えています。特に日蓮宗は、祖母が間違ったご利益主義に絆されて入信しましたが、かなり奥深い哲学が有ると思っています。

レールの町		12才	男性
NO.94	P1	その他 2	
			⇒ジャンルへ

鉄道模型のレールを町中に敷いて、町中に鉄道模型が走る街にします。

誰でも、この町を訪れた人は、自分の持ってきた鉄道模型を走らせることができます。

鉄道模型を持ってない人は、鉄道模型を借りて走らせることもできます。

お寺は、駅です。

「お寺駅」に来ると、貸し出し鉄道模型が借りられたり、鉄道模型の情報交換ができたりします。売店でお土産を買ったりもできます。自慢の鉄道模型を展示するところもあります。鉄道模型が壊れたりして困ったら、お寺駅に来て、ここに集まっている人に教えてもらって修理することもできます。

途中にあるお店にもレールを通らせて、お店の食べ物を別の場所に鉄道模型で運んで食べることもできます。重いものは無理です。アメとかなら大丈夫だと思います。

手紙とかを、友達や知り合いの人のところに運ぶこともできます。

鉄道模型のレールは、最初は町の人がお金を出して敷きます。途中からは、この町を訪れた人が、家で使わないレールを持ち寄って、どんどんレールをつなげていきます。それで町中にレールを広げます。

町のお店が、広告付きの鉄道模型を走らせて、お店の宣伝にも使えます。その広告料金を、電気代とかレールの維持費とかに使います。

ぼくがよく行く鉄道模型のお店には、鉄道模型を走らせられるジオラマがあるのですが、待たないとできなかつたりします。もし町中にレールが敷いてあって、いつ行っても鉄道模型を走らせられると、すごくうれしいです。

レールが長いと、それだけでわくわくします。

鉄道模型の店のジオラマで、よく大人の人が貨物列車をすごく長くつなげて走らせています。大人はたくさん貨車を買えてうらやましいです。もしレールがすごく長いと、大人の人がどのくらい長く貨物列車をつなげて走らせてくれるか楽しみです。

学校の友達で鉄道好きな人が3人います。こんな町ができれば、きっと3人で遊びに行きたいと思います。

ミニ四駆を走らせられるコースがある町もいいです。鉄道模型とミニ四駆、両方あるとすごくいいです。



説法が単位に	新人研修	合コン	会談会	修行	年越し	34才	男性
NO.127	P1	勉強会／交流が目的の会／仏教年中行事／体験型イベント／その他 2					
							⇒ジャンルへ

私の住んでいる東京都世田谷区の北烏山はお寺が多く、静かでとても雰囲気の良い町です。

でも、いつも横を通り過ぎるばかりで、なかなかお寺に関わることもなく、ちょっと残念な気持ちもありました。

そう感じている中、今回の様なコンクールを知り、とても興味深く感じてます。
知恵足らずかも知れませんが自分なりに真剣に考えてみました。

私自身は仏教徒ではありませんが、宗教という枠を超えて、
お寺というものにはどこことなく親近感・安心感があります。

今回の自分の案が採用に足るものかどうかは別にして、
お寺というものが身近になることは、多くの人にとってとても良い事だと思います。

近年、インターネット上での仮想的な繋がりがもてはやされていますが、
実際に人々が顔を合わせて団欒する、そんな場所・空間は今後も必須だと思います。

お寺がそのような多くの人のコミュニケーションの基点になればいいですね。

それでは

瑣末ですが、以下に案を幾つか列挙させていただきます。

□ 『お寺での講義(説法)が大学の授業の一部(単位)になる!』

お寺で住職さんの講義(説法)を大学に関連させてはどうでしょうか？

すぐに思いつくのは宗教・仏教関連の講義ですが…

例えば『文化人類学』『倫理学』や近年の生命科学と命の尊厳を論じる『バイオエシックス』
『生命倫理』などの理系の分野でも、仏教における死生観・生命観は一つの重要な視点になるのではないのでしょうか？(この部分に関してだけは、仏教というものを前面に押し出した方が好ましい気がします)

住職の方が大学に赴いて講義するのも良いかも知れませんが学生にとっては受身になってしまい真剣さが十分ではなくなるかも知れません。

むしろ、学生の方がお寺に足を運んで聴講するほうがお寺の活気にもつながるでしょうし、
聴く学生の方もより真剣に取り組み、結果、身につくのではないのでしょうか？

平日だけでなく休日にも開講できたら喜ぶ学生もいるかも知れませんね。

□ 『企業や官公庁などの新人研修サービス』

どのような組織であっても、ある程度発展してくると人材の育成は避けて通れない問題だと

説法が単位に	新人研修	合コン	会談会	修行	年越し	34才	男性
NO.127	P2	勉強会／交流が目的の会／仏教年中行事／体験型イベント／その他					
		2					⇒ジャンルへ

思います。組織によっては教育体系が整備されているケースもありますが、多くの組織では直属の上司任せという場合も多いかと思います。

上司が直にいいにくい事や会社ではやりにくい事、でもぜひ新人君たちにはぶつけておきたいこと、身につけて欲しい事をお寺で若者に教授する。

『寺が、和尚が貴社の代わりに嫌われ役になります』とかのキャッチコピーはいかがでしょう？(笑)

お寺で少しきつい目に遭えば、その後の会社での苦難にも立ち向かえる精神的な強さも身につくでしょう。

それに、そのような若者が育てば、受注先の企業・官公庁にとってだけでなく、日本全体にとって良いことなのではないでしょうか？

研修内容は仏教にあまりこだわらず、世間一般的な作法から始まり、例えば礼法など上流向けの内容を教授すべきかも知れません。その方が、研修を依頼する側も、研修を受ける若者にとっても受け入れやすいと思います。

世の中には富士山の麓で受講者に、ただただ精神的な苦痛を与えて、そこからの開放感を枷にして5万/日という非常識な研修も多く世には存在します。そのような営利研修よりも、本当に若者を育成できる機関が台頭すべきだと強く感じています。

寺院はそれを担えるでしょうか…？

私は期待しております。

□ 『お寺で合コン（お見合い会）』

不謹慎かも知れなくてすみません。

でも…

お寺が真面目な出会いを求めている人達の出会いの場にならないか？

→ちょっとありかも知れないと思っています。

一般的な合コンのノリはついていけないのもっと落ち着いた感じがいいな、という多くの悩める人々に好適だと思います。

世の合コンは大抵、どこかの飲み屋かバーで、基本喧騒にまみれています。

単に目立つだけの人が勝つ場合も多いです。

一方、そのような中では自分本来の魅力を発揮できない方も多いのではないかと思います。そのような中、寺院の落ち着いた雰囲気や男女が互いの伴侶を真剣に探し求めるのはとても素敵ではないでしょうか？

単に出会い場や飲食を提供するに留まらず、合い間合い間に、今一歩踏み出せない人への和尚さんがフォローに入ってみるとかも？

お寺なら、縁起も良さそうですね。

単に飲食をして会話を楽しむというスタイルでは差別化も図りにくいし、お寺では限界があるかもしれないので…

精進料理を参加者の男女が共同で作る、とかどうでしょうか？

それだけでなく、一緒に境内の掃除等の共同作業を設けてみるなど『共同作業』というキーワードで、色々具体的な事は膨らませそうです。

世の男女は出会いに悩んでいます。

最近では多くの出会い系サービス、婚活サイトが増していますがそれだけ、要望があるとい

説法が単位に	新人研修	合コン	会談会	修行	年越し	34才	男性
NO.127	P3	勉強会／交流が目的の会／仏教年中行事／体験型イベント／その他 2					
							⇒ジャンルへ

うことなのでしょう。

ぜひお寺のポテンシャルを活かして、一組でも多くの男女を幸せな縁に導いて下さい。

□ 『お寺で怪談会！！』

（またまた不謹慎ですみません）

しかし、これは怖い！ まじで怖いです！

臨場感は最大級です。そのインパクトは絶大です。

設備投資が少なくて済むのが他の案より優れていると思います。

一般参加だけでなく、親子会談会とかターゲット層を分けて種々の時間帯で設けてもいいかも知れませんね。

ともし火は蠟燭がいいと思います（防災上の課題をクリアした上で）。

不謹慎さへの懸念は会談の内容を精査することで解決出来ると思います。

□ 『お寺で修行』

この『修行』というのは仏門に関するものを一般の人が体験、というのではないです。

武術です。

座禅などの精神的なものも良いのですが…

お寺の僧侶さんは屈強なイメージがありますよね（有名なのは弁慶）。

歴史的な経緯はよく知らないのですが、寺院には武術の素養も要求されたこともあるのではないのでしょうか？

もしそうなのであれば…街の道場で習うのもいいけど、もし可能ならお寺で習いたい。

お寺で習えれば生徒も、より荘厳な気持ちになれる筈です。

これが自尊心にも繋がり、実際の修練の結果にもつながると思います。

個人的には徒手武術だけでなく、棒術・槍術を習いたいですね。

少年部なら平日の夕方など、お寺なら親御さんも子供の健全な成長を信じる事が出来、安心にして任せてくれるでしょうし、社会人も土日はお寺で武道、とうのは、やや世間を離れた気風も出て良いのではないのでしょうか？

行く行くは、お寺同士の対抗武術大会だなんて素敵だと思います。

話題性も十二分です。

少林寺だけに武術寺院の地位を任せなくてもいいのではないのでしょうか。

日本人の中にも、寺院で習う拳法・武術に憧れる男は多いのでは。

□ 『お寺で団欒な年越し』

年越し、お蕎麦をみなで（勿論、見知らぬ人同士でも）囲みながら団欒出来たらいいですね。

お寺の中で団をとりながらみんなで和尚さんのお話をききながら、間近で除夜の鐘を聴く。

そのお寺ならではの蕎麦とか、鍋料理とかを出せばもっとお客さん喜ぶはず。

ただ、テレビ番組が観られないのが寂しいと思う人多いかも知れないので、テレビをみんなで見ながら、という部屋を別に用意する必要があるかも知れませんね。

雰囲気としてはこれが一番いい感じだと思います。

『往復はがき』 de お寺と文通			36 才	女性
NO.130	P1	その他		
				⇒ジャンルへ

『往復はがき』^で お寺と文通



お寺の門前には よく「訓話」が掲示されている
 「訓話」のよいところは 宗派を問わず 誰もがわかりやすい
 平易な言葉で コンパクトに纏められていること
 メモをとったり 携帯カメラで写真をとってる人が 意外と少ない
 老若男女問わず お寺の前で足を止める キッカケとなっている
 折角 地域の人たちがお寺の前で足を止めている
 両者（お寺&地域の人たち）を繋ぐことができないか？

お寺と地域の人たちのコミュニケーションを深めるために・・・



タイトル		才	性
NO.130	P2	その他	
			⇒ジャンルへ

提案：『往復はがき』 de お寺と文通

～目的：訓話の配信（往復書簡文通）による、お寺と地域の人たちとの双方向コミュニケーションのきっかけづくり～

<現状>

- ・ お寺が訓話を掲示し、地域の人たちが立ち止まって見る
 - 「お寺→地域の人」という、一方向コミュニケーション
- ・ 地域の人たちが訓話の文言を携帯写真やメモで持ち帰ったりしている
 - 地域の人がお寺の前で足を止めている・・・両者を繋げられないか

<提案>

- ・ 訓話に興味がある地域の人たちに、好きなお寺（本提案協力寺院）に往復はがきを送り、お寺で訓話を印刷し、返信する
 - オプションで地域の人たちから訓話へのコメントやお寺への要望を書いてもらう
 - オプションでお寺から訓話に加えて、お寺のイベントやお坊さんのコメント、はがき片面に収まるメリハリあるコンパクトな内容を紹介する
- ・ 「お寺と文通」を古くて新鮮なキャッチフレーズとして打ち出す
 - 強制ではなく、あくまでもお互いのペースでやるという雰囲気づくり
 - 止めたいときは往復はがきを送らなければよい、まだいつでも再開可能にという緩い関係性で・・・



3

なぜ『往復はがき』か？

- ・ 電子媒体（携帯・Web等）は便利であるが、今の時代、ちょっとした手間かけたやりとりが暖かみを感じる
 - 郵便ポストに何かが届くって嬉しいものですね・・・
- ・ はがきの良さは、形ある紙なので、壁に貼れる、デスクに置ける、本のしおりにしたり、いろいろ工夫できるところ
 - パソコンや携帯など使い方がわからない人たちにも親切
 - 御朱印より気軽に始められる（お寺への敷居を低くする）
- ・ 投資費用を抑えられる
 - 往復はがきの印刷であれば、家庭用プリンターでも可能なのでお寺で発生する費用を抑えることができる
 - 往復はがきは個人でも負担感が少ない金額



枯れ木に花を咲かせましょう		22 才	男性
NO.134	P1	交流が目的の会	
			⇒ジャンルへ

今回、お寺を使つての地域社会への貢献ということで、私は地域の人に参加してもらえる地域参加型の企画を考えました。

それは枯れ木に折り紙で花をつけていってもらい、最終的には枯れ木が満開になるというものです。

①まず、地域住民に折り紙or画用紙を配ります。
(お寺にも参拝者が作れるように設置しておく)

②その折り紙を思いのまま折ってもらいます。
(作るのは、なんでもいいです)

③それをお寺に持って来ていただき、木に貼り付けるor糸で吊るします。
(地域の人にも吊るして頂けるよう協力を求めれば楽しめると思います。)

④そうすれば枯れ木に折り紙の花が咲きます。
(作るものを統一しないからこそ、皆の思いのこもった十人十色の一つだけの花ができます。)

折り紙は数が多ければ多いほど素敵なものになるかと。

※満開にするには時間がかかり、これは長期的にやる必要があります。

※その間、雨が降ることも考えられるので雨よけは必要です。

※又、枯れ木がない場合には買ってきた木でもいいと思います。(葉がついていてもいい。)

例えば、クリスマスツリーを買い、そこに折り紙を吊るせば、リンゴの木のようなイメージになりますよね。

そうすれば、実を着けるというコンセプトでもできます。

墓地を小型発電施設に			39 才	男性
NO.149	P1	その他		
				⇒ジャンルへ

活性化アイデア

ソーラーパネルを貼った墓石を作製、希望者を募り墓地全体を小型発電施設にする。

収益は墓地所有者個々が判断（例えば、墓地維持費用に使う。子孫にお年玉。寺院に寄付。自然保護に寄付。等々オプションをいくつか作る）。

また、災害時には自家発電によって地域のエネルギー供給施設にもなりうる。

特に都心で墓地は貴重なスペースであると思います。

死してなお何かを生み出すというのは、生ある者にとってはとてもロマンのある話ではないかと思います。

お年玉にした場合には、微額でも死んだおじいちゃん、おばあちゃんからお年玉なんてのも粋ではないでしょうか。

坊男萌えプロジェクト！		23 才	女性
NO.153	P1	その他 2	
			⇒ジャンルへ

概要:イケメンお坊さん特集など、テレビ局などメディアと協力してブームをおこす。(磯男や自衛官ブームのように) 具体的にお坊さんの一日から修行や宗派についての解説など…

関心をもってもらうためのとっかかりとしてよい案だと思う。

特集された寺院はもちろん地域の方の関心も高まり、特集された地域の観光客も増え、さらにメディアに取り上げることにより寺院が近寄り難いものでなくもっと身近に感じるようになる。

家族葬がふえたり、お葬式をしない方が増えたり、最近ではお坊さんもいない、自分で吹き込んだお経を流した、お葬式もメディアでとりあげられていました。

日蓮上人様が切り開いてくださった法華経をもっとひろめたい、また仏教を身近に感じてもらいたいと願っています。そこで日常考えていること、これからやりたいことを書き出してみました。

1、お釈迦さまの日を盛大に！

クリスマスはご存じのように、イエス・キリストの生まれた日です。

この日はキリスト教ではない方も1年に一度のお楽しみ行事になっています。

そこで4月8日を和菓子屋さんとタイアップして、大々的にイベントに育て上げます。

桜の開花と重なるので、桜のイメージのお菓子を作ったり、また若い人に感心をもってもらうためにアニメやコスプレの退会を開いたり。

お釈迦さまのかわいいグッズや日蓮上人のグッズを開発したり、楽しいイベントになるよう小物でも盛り上げます。

2、結婚コンシェルジュ養成

「寺院での結婚は福と御利益のもと！！」

ファミリー結婚など、家族だけの結婚式から町をあげての結婚式まで。

結婚式場で結婚式をすると特定の方にしか、花嫁衣装や幸せの姿を見て頂けませんが、お寺で結婚式をするとまわりの方や檀家さん、町の方にも見て頂けるので、とっても印象深い式になるはず。

お寺で結婚式を行えることを広くアピールして、葬式だけではないイメージを抱いてもらうねらいがあります。

日蓮宗公認結婚コンシェルジュを養成し、さまざまなお寺に派遣する。

もちろん寺族がその資格をとっても良いのです。

それによってお寺には縁がないと思っている若い方々にもきていただけるのです。

私自身もお寺で式を挙げて頂きましたが、とても良い思い出に残っています。

3、寺で葬儀を執り行う

「ご葬儀をお寺の力にしよう」

葬儀は今やホールでやるのがほとんどです。

亡くなると寺よりもまず、葬儀会社に相談する方がほとんどです。

そこでは人が亡くなるということがベルトコンベアーのように、

亡くなられた方との思い出を味わうことよりも式が無事おわることに終始しているようです。

昔のように、家でお通夜をしたら、在りし日の故人をより思い出すでしょう。

ご葬儀もお寺ですることによる、メリットもたくさんあるでしょう。

まず祭壇がそのまま使えるということです。

他にも檀家さまの負担が少なくなることがあるのではないのでしょうか？

お寺に葬儀をとりもどしたら、お寺の存在価値もグッとアップするでしょう。

4、寺の駅

「道の駅ならぬ、寺の駅」

その寺の檀家さんのなかで、自慢の品やそこにしかないものを作っている方をネットで紹介する。草の根的な細かい情報はお寺さんやご住職ならではのもの。

宗務院のホームページから全国の寺院を紹介するとともに、檀家様のネットワークを広げること

で、一般の方も日蓮宗に興味をもってくれるのではないでしょか？

見て楽しいホームページなら宗教に縁のない人との縁をつなぐことができます。

5、会社の里親になる

―社会とより絆を強めていくためにできること―

悲しいことに

自殺する方は戦後3度目のピークに達している。

また女性より男性の方が、圧倒的に多いという。

自殺の理由は「健康的な理由」が第一。

次に不況などによる「経済的理由」があげられるとのことです。

理由は様々あるけれど、どんな困難にも立ち向かう心を育てることが解決につながるのではないのでしょうか？

それらの理由から自殺者を救うのは、これからは「寺」や「僧侶」で合って欲しいと願います。

たとえば、1年に何度か、お寺に行く日を会社ごとにつくってもらう。

スケジュールの例

朝のお勤め、清掃、昼（精進料理）、写経、法話、などなど。

会社と相互に協力することによって、檀家さんしか交流がないところのお寺も活性化する。

6. エコリサイクルの拠点になる。

①寺家発電しよう

原発の事故によって未曾有の大災難がおきました。

日蓮上人様のご覚悟にははるかに及ばないながらも、さらなる意識の向上が望まれます。

同じ人災を繰り返さないためにも、原発の勉強やクリーンエネルギーの推進が必要不可欠だと思います。

身近なところからいえば電気をなるべく使わないようにするなど、できることはたくさんあるでしょう。

先日NHKで太陽光照明をとりあげていました。お寺は電気の消費量も多いと思いますので、クリーンエネルギーを率先して実行することにより、お寺への尊敬と親密さはますますでしょう。

資料添付

②リサイクルをお寺から

比較的広い敷地があればそれを利用して、フリーマーケットや衣類交換会、食器の交換会など行くと、社会に貢献できます。

ソーラーカーや廃油で走る車なども寺家用車にするなども考えられます。

お寺ワールドを広げよう！！		52 才	女性
NO.172	P3	同じ趣味の会／勉強会／真剣な話し合い／会場提供／置場提供／土地を貸す／販売コーナー／まつり型イベント／キャラもの	
			⇒ジャンルへ

またお寺にあげていただく果物かごはプラスチック製で使い捨てられている現状です。
それをリサイクルにして、循環するなど、お寺からエネルギーの啓蒙をはかる。

7, 親族を亡くした方を心理的かつ具体的にサポートする日

親族たとえばお子様を亡くされた方はその悲しみをずっとかかえていらっしゃると思います。
時には必要以上にご自分を責めたり、そのために離婚したり、さまざまな問題を抱えていらっしゃると思います。

お経を唱え冥福を祈りましょう。と言葉で伝えてもなかなかむずかしいのではないのでしょうか？
そういう方たちのために、

「お子様を亡くされた方の親の会」

「パートナーを亡くされた方の会」

など作って参加者みんなと一緒に悩み、話を聞いてあげるとそれだけでとても楽になると思います。

お坊様の経験を最大限活かして、心理カウンセラーの役割を担います。

こころが軽くなる認知行動療法 → <http://www.cbtjp.net/>

などを取り入れると、有効であるようです。

このように具体的に助けるためには、毎月の勉強会をかさねていくことが望ましいと思います。

7, その他

食べるものの大事さ。

ジャンクなものやインスタントのものがたくさん生活に入り込んでいますが、そういうものを常食していると、いわゆる「きれやすい」子供たちにつながることもあるそうです。

お袋の味がおいしいのは我が子のためにつくる。愛情の気持ちがいっているからです。

そういうものなしに育った子供たちは自分の子供ができて愛することができないでしょう。

やはり食べるものは大事だとも思います。

私の地区では毎年2回、「お寺参り」という行事がありますが、なるべく手をかけて、食育的な啓蒙をしています。

お出ししたお料理のレシピをお配りして、家でも作って頂けるようにしました。

またお料理教室やヨガ教室も開催し、檀家様や一般の方にも開かれた寺院をめざしております。

お寺を子どもの声で賑やかにするプロジェクト		不明	不明
NO.184	P1	境内・伽藍の開放／公園化／その他	
			⇒ジャンルへ

お寺も子どもたちも地域の宝もの お寺を子どもの声で賑やかにするプロジェクト

- 1.はじめに(P1)
- 2.子どもたちをお寺に再び呼び込むために(P1)
- 3.お寺が子どもの「遊び・文化・体験」の場として有利な面(P2)
- 4.子ども文化団体「子ども劇場・おやこ劇場」とは(P2)
- 5.お寺と「子ども劇場」のコラボレーションで子どもたちに未来を(P3)
- 6.提案(P4)
- 添付資料①②

「お寺を子どもの声で賑やかにするプロジェクト」

1.はじめに

日本人は古より、お寺という場を、仏教寺院としてのみ扱うのではなく、公民館・美術館・展示場・学習施設等、文化の薫り高い、しかし、非常に身近なイベント会場として利用してきた歴史があります。精神性に裏打ちされた正しく宗教的な施設として、地域住人の心のよりどころとなるとともに、それは「人と人」「人と仏」「生者と死者」がつながりを求めて集う場として広く開放されていたからでありましょう。

特に地域の子どもにとっては、境内が遊びの場となっていたことのみならず、寺子屋のような教育機関として、また、封建時代には身分制度を超えられる可能性がある希望の場として子どもにとって文化・教育の場としていかに大きな役割を果たしてきたのかは枚挙に暇がありません。昔話（民話）にも、お坊さんと小僧さんの話がどれだけの数があるのでしょうか。

子どもたちが「お寺」という場に「日常的」に親しみ、利用することからはじめるのが、地域のコミュニティーの核としてお寺が位置づき活性化することになる近道であると考えます。「お寺も子どもたちも地域の宝もの」が私たちの大事にしたいフレーズなのです。

お寺を子どもの声で賑やかにするプロジェクト			不明	不明
NO.184	P2	境内・伽藍の開放／公園化／その他		
				⇒ジャンルへ

2. 子どもたちをお寺に再び呼び込むために

地域で活動する子ども関係団体と手を結ぶのが何より効果的です。子ども関係の市民団体は、「育児・子育て」の手助けをする「子育て支援団体」（＝子どもを保護する）、教えたり・引き出したりする「社会教育団体・スポーツ団体」（＝子どもを外側から引っ張りあげる）などのほかに、「遊び・文化・体験」を軸に活動する「文化団体」（＝子どもの内側からのエネルギーを高める）があります。目に見えてわかりやすい「支援」「教育」は学校・行政・公民館を巻き込み幅広く市民活動がなされておりますが、「子どもの文化状況」に関して支援するところがいかにも少ないのが現状です。子どもの健やかな地域での成長を願い、その文化支援を積極的に行うのも、お寺のなす大事な役割のひとつではないでしょうか。例えば、教育機関として機能した、「寺子屋」は、行政が担う「学校」（＝義務教育）としてすでにお寺の手から離れています。「駆け込み寺」といわれた保護施設機能も、保健所や福祉施設が担っています。確かに公園などは場としては地域に存在しますが、遊具がそろっていれば安心して遊ぶことのできる場となり得るのでしょうか。そこに子どもが異年齢の集団として育つ場となり得るのでしょうか。地域の人々に見守られる場であり、精神的に安定した「管理者」が存在するお寺という場こそ、子どもたちとその保護者に求められる「遊び・文化・体験」の場、足りえるのではないのでしょうか。期待は高まります。

3. お寺が子どもの「遊び・文化・体験」の場として有利な面

お寺は子どもたち（その保護者も含め）にとっても魅力が一杯です。箇条書きにしてみます。

- ・ なにより広い、周りに迷惑がかからない
- ・ 自然が一杯であることが多い（緑・水・庭などなど・・・）
- ・ 響きがいい大空間の本堂は新鮮な感動、天井の高い開放感と応用性
- ・ トイレも駐車場も申し分なし
- ・ 歴史を感じられる上に、地域のステータスの場
- ・ 不審者が入るような心配がない安心の場

などなど。

具体的にこんな声を聞いています。

「かつて境内では子どもたちが木に登り、秋は落ち葉に埋もれ、雨の日は探検と称して本堂の床下にもぐり、くもの巣だらけになったと親世代から聞き、うらやましく思っています。ときには悪戯をして和尚さんに叱られ、あるときは仏様のお下がりのお菓子をいただく、優しさに包まれた安心安全な子供たちにとっても聖域だったのですね。」と・・・

お寺を子どもの声で賑やかにするプロジェクト			不明	不明
NO.184	P3	境内・伽藍の開放／公園化／その他		
				⇒ジャンルへ

4. 子ども文化団体「子ども劇場・おやこ劇場」とは

一方、地域で活動する子どもの文化団体である「子ども劇場・おやこ劇場」では、少子化とともに真の意味での地域に回帰する流れが全国的に生じています。

「子ども劇場・おやこ劇場」は1966年福岡市において大学生・母親が協力して活動していた地域の自主的な「子ども会」として成立しました。児童劇団など文化芸術のプロと協力し、会員を集め「例会」と称して舞台芸術の公演を定期的に行うにいたります。以降、全国に同様な組織が「子ども劇場」「おやこ劇場」として生まれました。新潟県内では「子ども文化の生活協同組合」のイメージが強い。(新潟県では現在、新潟県内12組織およそ2,300人の会員。まきおやこ劇場は1993年に設立し、角田山妙光寺を拠点のひとつとして地域で活動しています。)

2011年6月現在で全国の「子ども劇場・おやこ劇場」の数は北海道から九州まで552団体あります。

全国的な運動体として、「子ども劇場おやこ劇場全国フォーラム」がありますが、そのポイントとして、①子どもとその文化状況に関心のある地域に根ざした自主的な組織 ②舞台芸術鑑賞を活動のひとつの軸に置く ③「生の体験」主義に貫かれており、活動のキーワードが“子ども”“地域”“舞台芸術”“文化権”を掲げて全国的に展開しています。(支部組織ではなく、それぞれ独立した運営体です。以下、「子ども劇場」と省略)

この「子ども劇場」では、人手とノウハウがあっても、拠点となる活動場所を持っておりません。公的な施設(公民館・市民会館など)を利用することも多いのですが、逆に公的な施設は制約が多く、管理が事務的で「血が通う」という面で使いにくいのです。一例をあげると、催しのあと出演者の方たちと食事を取りながらの交流会・懇談会などは定番ですが、公的施設ではいつもその会場に困っています。お寺の台所を貸していただければ、若いお母さんたちがわいわい楽しみながら子供たちや、出演の役者さんのお食事が作れます。お寺の設備としての不利な点である、音響・照明設備が充実していないという面はありますが、そこには「子ども劇場」は経験、ノウハウはもとより、何よりも若くて元気でこういう活動が大好きというお母さんお父さんたちがいます。設備の不足は会員の力で調達しきる能力は高いのです。「子ども劇場」の活動には行政の補助金が出ることもありますが、その活動自体は宗教活動ではないので会場がお寺でも問題はありませぬ。むしろより地域密着で喜ばれるほどです。お寺にとっては一切の経費負担無しで、多くの方が集まりご縁作りにもなるのではないのでしょうか。

お寺を子どもの声で賑やかにするプロジェクト			不明	不明
NO.184	P4	境内・伽藍の開放／公園化／その他		
				⇒ジャンルへ

5. お寺と「子ども劇場」のコラボレーションで子どもたちに未来を

1) 境内から子供たちの声が聞こえなくなった「お寺」

- ・かつて境内は子供たちの遊び場だった。

しばらく前までお寺の境内は地域の子供たちの遊び場として賑やかでした。大人になっても変わることの少ない境内は、懐かしい思い出の詰まった場所だと聞きます。その境内から今子供たちの声は聞こえて来ません。

- ・ご住職からは「近頃お寺に来る方が高齢者ばかりで、活気もなくなりお寺の将来が心配だ。子供が少ないのもわかるが、なんとか子供たちや若い親世代に気軽に来てもらえないものか」とお聞きしました。

2) 地域の子供たちの育成に取り組む「子ども劇場」

- ・「子ども劇場・おやこ劇場」は地域で親子が共に育つ活動をする全国組織。
- ・熱心なお父さんお母さん、そして、青年・若者の手で支えられています。
- ・企画・運営のノウハウと人材はあるが、活動資金と会場に困っています。

3) 15年に及ぶ「まきおやこ劇場」と「角田山妙光寺」の協働モデル

- ・プロの劇団や音楽家を招いての舞台鑑賞

「子ども劇場・おやこ劇場」の真髄は優れた生のお芝居や音楽を、どんな地域に居る子どもたちにでも届けること。本堂や大広間、板敷きの広い院庭テラスを利用して演劇、コンサート、人形劇、芸能など数多くの公演を妙光寺で実現させてもらっています。都会のように観劇ホールがないこの地域の子どもたちにとって、本物に触れる貴重な場となっています。

- ・自然あふれる境内で「お花見会」や「きもだめし大会」境内に住む「ムササビの観察会」など、四季を通して気楽に参加できる遊びを企画し、子どもたちに大好評です。

- ・うっそうと茂る境内の裏山雑木林での「森林体験」

地元の森林組合の指導のもと、下草刈りや間伐を子どもたちと行い、森を守る大切さを学習し、間伐した木や竹で秘密基地作りなどの大掛かりな遊びも展開。行政からの補助金が出たり、注目度の高い活動です。

- ・子どもたちの自由発表会

今、学校では授業数確保のために学芸会や文化祭などの行事が縮小、削減されています。子どもたちが勉強以外の得意分野で輝ける場として、本堂での朗読発表会や院庭での HipHop ダンス発表会などを行い、家族や地域の人たちに喜んでもらっています。

お寺を子どもの声で賑やかにするプロジェクト			不明	不明
NO.184	P5	境内・伽藍の開放／公園化／その他		
				⇒ジャンルへ

4) 続く “ご縁の輪”

- ・若いお父さんお母さんたちにとってもお寺は遠い存在！？

最近の家庭は核家族ですから、お墓参りは行ってもお寺に入ることはほとんどありません。行きやすい催しがあれば興味をもってお寺に入るきっかけになります。若い親世代が来れば当然小さな子どもたちにも繋がっていきます。

- ・ご住職が身近になった。

催しでご住職の説明があったり、なにげなく質問したり言葉を交わすことで、ご住職がとても身近になりました。「お寺って誰が来てもいい所だって始めて知りました」なんて言葉もたくさんあります。

- ・檀家さんも歓迎

お寺をお借りするだけでなく、ご縁ができてお寺の行事で茶店を開かせてもらったり、お墓参りに『紙で蓮の花作り体験』等、子供が楽しめる企画を出して、お参りの檀家さんにとっても喜ばれました。私たちも収益が活動資金になって助かります。

- ・お寺で結婚式

長年に亘るこうしたコラボレーションが続くうちに、ご主人が亡くなったまきおやこ劇場の会員さんがご住職に法要をお願いし、境内墓地にお墓も求めました。7年後、その娘さんが結婚することになり、「お父さんに花嫁姿を見てもらいたい」という思いから、お寺の本堂で挙式、新緑のお庭で手作りの披露宴をさせていただくご縁もできました。おとなも子ども集い、まるで「子ども劇場」のイベントそのままのものとなりました。

6. 提案

以上、「まきおやこ劇場」と「角田山妙光寺」の近年のコラボレーションをモデルに箇条書きにしてみました。これと同じような場を全国の「子ども劇場」は求めています。ただし、今現在は、公的施設にのみ目が行ってしまっているのが現状です。

そこで、地域の「お寺」の場の提供と地域の「子ども劇場」の人とノウハウで、お寺に活気を溢れさせる「お寺を子どもの声で賑やかにするプロジェクト」をモデル事業として提案、積極広報していきたいと考えます。

お寺を子どもの声で賑やかにするプロジェクト			不明	不明
NO.184	P6	境内・伽藍の開放／公園化／その他		
				⇒ジャンルへ

具体的には・・・

●子ども劇場の「例会」に会場を提供

子ども劇場では会員の親子が定期的にプロの舞台を観賞する「例会」が年に5～8回あります。例会の経費は全て子ども劇場の会費から捻出され、出演する劇団との交渉や契約も一年前には決まります。この上演会場として、お寺を提供してもらいます。

ただし「例会」の場合は子ども劇場の会員しか入場できませんので檀家さんには声をかけられません。

しかし今までお寺に来たことも無かった一般の人々が親子でたくさんやって来るのでお寺自体を外に広げるにはまたとない機会となります。

●お寺を会場にした様々な活動を共に創り合う

「例会」以外にも一般チケット売りの舞台公演や、子どもたちの体験活動の場としてお寺をお借りします。この場合は会員限定ではありませんので、どなたにでも参加してもらうことが出来ます。

企画・運営・財政は主に子ども劇場で行いますが、お寺にチラシを置いたり、寺報に載せたりと広報していただき、檀家さんたちにもどんどん参加してもらい、地域の人たちと檀家さん、大人も子どもも一緒になって楽しめる場をお寺に作っていきます。

その際にお寺と子ども劇場の共催という形を取れば、お寺の一行事として扱うこともでき、ご住職のお話を組み込んだりすることで檀家さんからも喜ばれます。

当日までの流れ

①子ども劇場の事務局とご住職の事前打ち合わせ（3ヶ月前くらいまでに）

- ・当日の使用時間と使用場所、制約事項等の確認をする

当日は上演や活動開始の時間よりかなり早くから仕込み等が始まります。また会場が本堂だとしても別に控室が必要だったり、台所を使用させてもらったりもしますので、法要等と重ならないように事前に打ち合わせをおこないます。また舞台を作る際の釘禁止、ガムテープ禁止なども確認し合います。会場使用料などの規定がある場合はそれも伝えます。

②当日の運営

- ・基本的にはすべて子ども劇場のスタッフで行いますが、設備品の使用等に関しご協力をいただいたり、ご住職にご挨拶をお願いしたりすることもあります。
- ・最後の掃除まで終わらせ、現状復帰させ終了となります。

※全国の「子ども劇場・おやこ劇場」の情報については添付資料②の子ども劇場おやこ劇場全国フォーラムまで。





お寺を子どもの声で賑やかにするプロジェクト		不明	不明
NO.184	P9	境内・伽藍の開放／公園化／その他	
			⇒ジャンルへ

※資料② 子ども劇場おやこ劇場全国フォーラム

<http://www.soft-unique.co.jp/cgi-bin/gekijo/gekijo.cgi>

子ども劇場おやこ劇場全国フォーラム発足に当たって

1966年6月、福岡において、子どもの文化を豊かにしようとする地域のおとなたちによって最初の「子ども劇場」が発足しました。地域の特性を生かした「鑑賞例会活動」と「自主活動」を2本柱とするこの運動は全国的に広がりを見せ、子ども劇場・おやこ劇場と称した同様の団体が次々と誕生しました。それぞれの団体は独立したものでしたが、鑑賞例会活動の円滑な実現のための共同を軸に1974年に「子ども劇場全国連絡会」が発足、「NPO法」の成立にあわせ、1998年にはNPO法人を取得し、「特定非営利活動法人子ども劇場全国センター」となりました。この間、運動の方向性をめぐり、全国的に相当数の子ども劇場・おやこ劇場、また、その地方組織が全国センターに非加盟、また後に脱会をし、結果、非加盟の団体が多数になると言う状態になりました。全国センターは鑑賞例会のセンター機能を2002年に事実上閉鎖したので、鑑賞例会・鑑賞活動を継続したい全国の多数の子ども劇場・おやこ劇場、また、その地方組織が鑑賞活動の実務のため全国センターと別に結集、「2003企画・調整・実施全国連絡会」を結成しました。2004年からは「子ども劇場企画実行委員会」として恒常的な組織となりました。その活動は、鑑賞例会・鑑賞活動の実務に限る共同作業でしたが、全国的に結集する場は他にないこともあり、自然に運動交流の場としても期待されるようになりましたが、それぞれの運動の方向性は大きく異なったため、2009年に「子ども劇場企画実行委員会」が、共通に運動交流を行うことが出来るように全国交流会を呼びかけました。その結果、“子ども”“地域”“舞台芸術”“文化権”を守り促進する団体が子ども劇場・おやこ劇場であるということが参加団体間の共通認識として得られました。これに基づき、恒常的な運動交流の場として2010年に「子ども劇場おやこ劇場全国フォーラム」を発足し、今日に至ります。

お寺を子どもの声で賑やかにするプロジェクト		不明	不明
NO.184	P10	境内・伽藍の開放／公園化／その他	
			⇒ジャンルへ

子ども劇場おやこ劇場全国フォーラム規約

＜目的＞ この会は、子ども劇場おやこ劇場全国フォーラムとよび、“子ども”“地域”“舞台芸術”“文化権”を守り促進する団体である子ども劇場・おやこ劇場の全国的な交流と活動を通じ、すべての子どもを視野に入れて地域に根差した「子ども劇場運動」の発展とのびやかで豊かな「子ども時代」を過ごすことができる環境づくりをすすめます。

＜活動＞

1. 全国の子ども劇場・おやこ劇場の運動（子ども劇場運動）の交流
2. 子どもと文化に関する活動の学習およびサポート活動
3. 子どもと文化に関する現状の分析・各種情報の収集・発信
4. 子どもと文化に関する政策研究・提言
5. その他、目的に沿う活動

＜会員・運営＞

1. この会は、“子ども”“地域”“舞台芸術”“文化権”を守り促進する団体である子ども劇場・おやこ劇場、および賛同する個人・団体で会員を構成します。
2. 会員の種別は以下のとおりとします。
 - ・正会員 この会の目的に賛同し活動を推進する子ども劇場・おやこ劇場都道府県組織
 - ・賛助会員 この会の目的に賛同し、様々な形で活動を支援する個人・団体
3. 会員の代表者による会議を定例的に持ち、ここで学習・交流・情報交換・打ち合わせ等を行います。また活動方針・課題・予算・規約の改廃を行います。
4. この会を円滑に運営するために若干名の役員をおき本部会議を構成します。また代表は事務局の実務および会の運営のまとめ役を担います。

＜活動年度＞

この会の会計年度および活動年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わります。

＜財政＞ この会の経費は会員による会費と寄付金・助成金・補助金等からなり、年度末には監査を受けます。会員の分担金額は別途定めます。

＜附則＞ 2011年3月11日に発生した未曾有の災害である東日本大震災で被災した、子ども劇場とその地方で生活したり非難を余儀なくされる子どもたちのために、東日本大震災対策本部を設置し、当面の活動をこの支援活動に傾注するものとする。

2010年 9月26日施行
 2010年 11月15日一部改正
 2011年 3月27日附則施行

日本刺繍サークル		52 才	女性
NO.193	P1	その他 2	
			⇒ジャンルへ

【アイデアの概要】

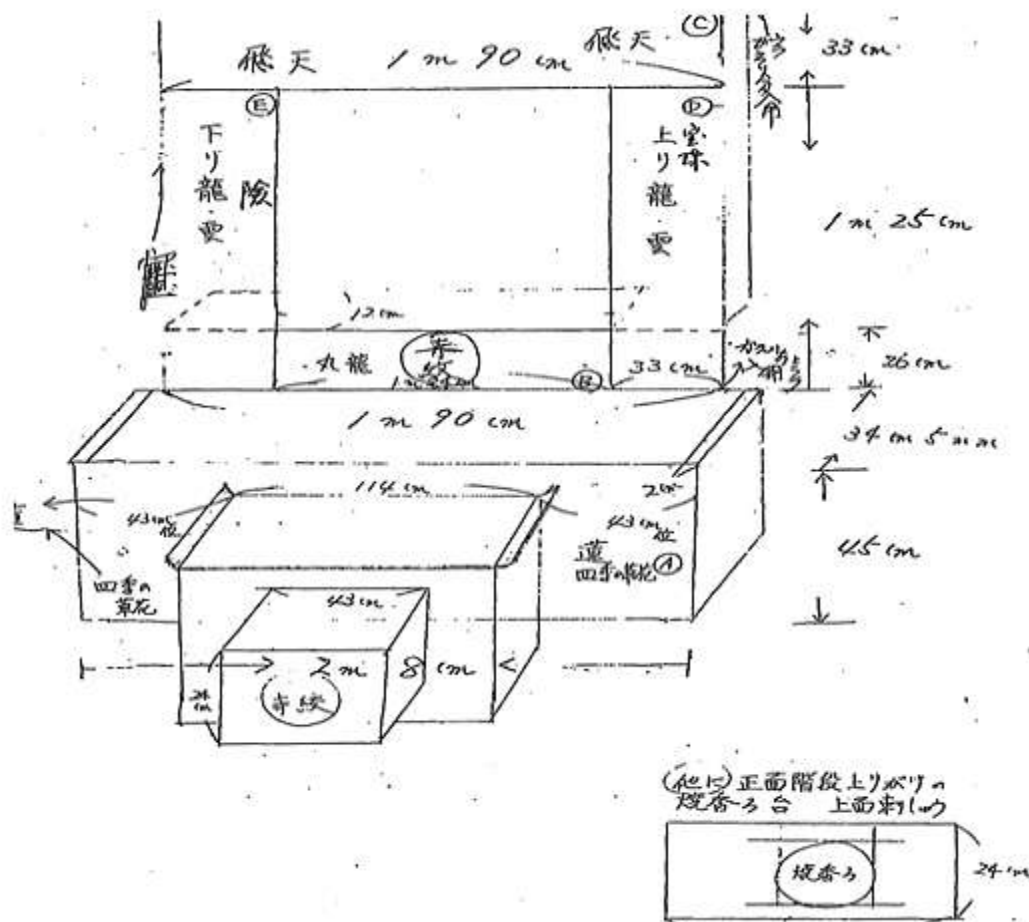
日本刺繍を始めて9年目を迎える今年、参加している4人の腕も上がりまたお寺を快く開放して戴いている事から何かお返しをすることが出来ないかと考えました。お寺の先生のお力も借り「お寺の御宝前の四方を囲む幕に日本刺繍をしてお供えが出来たら」と考え計画を進めることにしました。

縦 30cm 横 1m90cmの物を2枚
縦 1m25cm 横 33cmの物を2枚

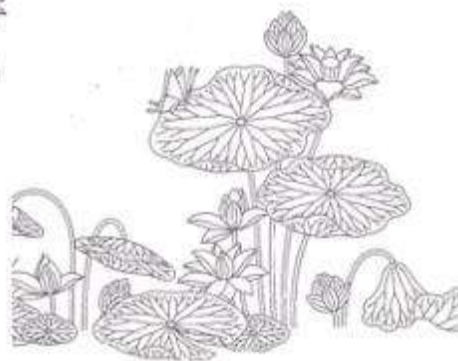
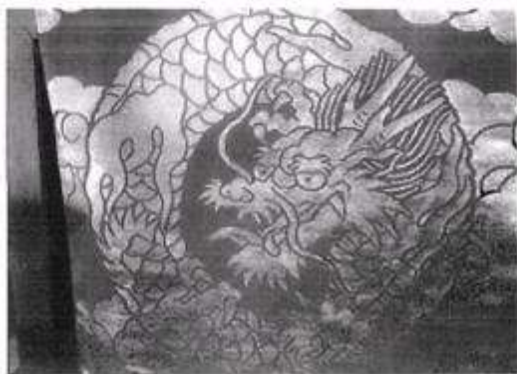
図柄は両脇に上り龍、下り龍と雲、中心上部は飛天、下部が丸龍、5人の気持より大きな力となる大勢の方の気持を繋ぐ貯めに、檀信徒以外の方にも加わって戴き、一人一針さして戴こうと「連紹寺いのりんびっく」での

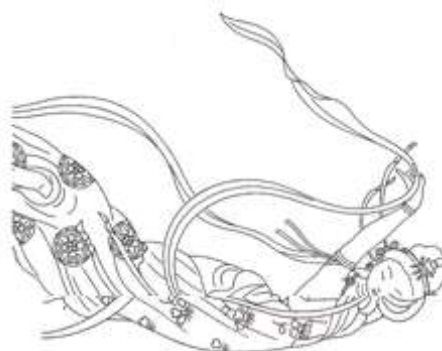
“ OPEN THE JAPANESE EMBROIDERY ” と考えています。

震災後の復興元年の今年、世の中が穏やかになることを祈りつつ人との絆を感じ、たくさん笑顔に会えることを願いつつ実行出来ればと思います。



日本刺繍サークル		52 才	女性
NO.193	P2	その他 2	
			⇒ジャンルへ





お寺大好きプロジェクト「まちの駅」×「お寺」×「生きテク」			46 才	女性
NO.197	P1	その他		
				⇒ジャンルへ

タイトル	お寺大好きプロジェクト「まちの駅」×「お寺」×「生きテク」
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・お寺を、地域の人に気軽に足を運んでいただける場にするため、全国のお寺が「まちの駅」に登録する。 ・はじめのうちは曜日や時間を限定して、「お茶飲みタイム」を設定する。 ・常連さんの中から「駅長さん」を決める（はじめは住職や坊主が担当する。適任者がいれば、地域の人にバトンタッチすることも可能）。 ・駅長さんはオキタリウイチが発案した「生きテク」（死にたいほど悩んでいたけれど死ななかった人の膨大なエピソード集。書籍版とサイト版とがある）を丹念に読んで、「生きるためのテクニック」を常に勉強する。 ・毎回、集まった人どうしてエピソードを読みあい、語り合う時間をもつ。 ・悩みを抱えた人が来たときは、「生きテク」の中から「似た悩み」を探し問題解決の糸口を提示する。 <p><u>求める結果</u></p> <p>お寺が中世の無縁寺・駈込寺のように、生きづらさを抱えた人々の集い場となり、問題解決の核として有機的に機能していく。</p> <p>「まちの駅」に登録し、「生きテク」を実践する寺は、こころの悩み解決の現場となり、また人と人をつなぐ地域の人材バンクとなり、精神面及び経済面の両輪で地域の大きな支えとなってゆく。</p>



「生きテク」&ヘブンズパスポート

オキタリュウイチ

×

「いいお坊さん ひどいお坊さん」(ベスト新書)

&生きづらさと向きあうくひとなみ>

O k e i (勝 桂子)

共同企画

日本を元気に！

「まちの駅」×「生きテク」で

お寺の「問題解決ステーション化！」

お寺大好きプロジェクト

お釈迦さまの脳内にあった

“問題と解決法の因果関係”を可視化した
問題解決アーカイブ「生きテク」を使って、

問題をカンタンに解決しよう！

さらに、お寺が「まちの駅」に登録することで

町の人へ問題解決の手法をダイレクトに伝え、

お寺ファンを作る拠点となる！

2011年12月某日

⑧八丁堀 NPO法人 地域交流センター
めざせ全国に3000のまちの駅!!
(現在1700強...)



商店以外に、「まちの駅」になれそうなどころってないもんかな~

道の駅と違って、公的団体でないとダメなんていうシバリも何もないんだけど...

「まちの駅」に登録できる条件は...

- ①休憩機能=公衆トイレやベンチがある
- ②案内機能=まちの駅のロゴマークを設置でき(※)、パンフレットや町の案内図を置く。
- ③交流機能=駅長さん(応対できる人)がいて、出会いと交流をサポート
- ④連携機能=まちの駅どうし横の連携をはかり、情報交換をしていく

※名称は、「まちの駅」でなくてもいい。パン屋さんなら「パンの駅」など「~の駅」であればアレンジ可能。



橋本さん! その「まちの駅」って
宗教法人も登録できるんですか~?



登録してくれてるお寺があるにはあるけど...



広すぎて、どこに「のぼり」を立てても目立たないの.....





オキタが仏教の スゴさを知った日





数時間コツコツと時間をかければ達成可能な、
見える目標！

そして最後はありがたい仏さまがたがパワーを
くださるという、すばらしいご褒美。

その達成感は、これまで5人の誰もが体験したことのない
新しいカンカクだったのです！！

この写仏会に参加した仲間のうち

一人はその日を境に、
うつが治って
しまいました！

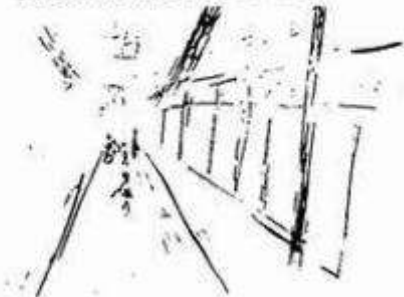
音の寺を大勢に任せし。

$$f_{\text{eff}} = \frac{1}{2} \left(\frac{1}{f_1} + \frac{1}{f_2} \right) = \frac{1}{2} \left(\frac{1}{10} + \frac{1}{15} \right) = \frac{1}{10} + \frac{1}{30} = \frac{3}{30} + \frac{1}{30} = \frac{4}{30} = \frac{2}{15}$$

それぞれ、
まさにソレです！
地域に活気を
取り戻すために
「まちの駅」に
ぜひとも欲しいのは！

競争競争で相手を蹴落とす
んじゃなく、一人ひとりが
自己肯定感をもって、
情けは人の為ならずというか、
御恩送りができる社会というか……

大手資本が荒らしまくっていった町に……



出現！



元気ステーション

「まじの駅・〇〇寺」

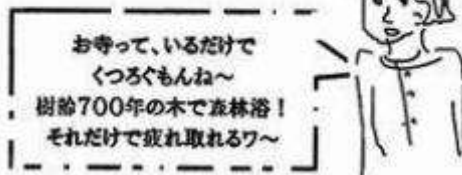
平日の14時～17時はお茶サービス
どなたでもお越しください

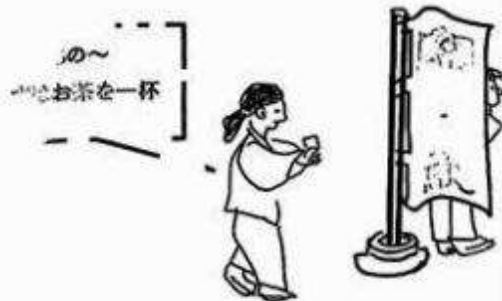


「今日からやるんでは？ まじの駅？ クラスの皆を呼んだよ！」

「のほりを立てただけでどうでしょうね…」

わ～寺とか入んの初めて

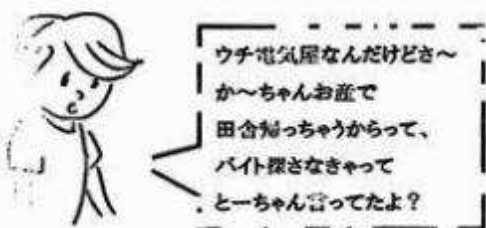




なにかお困りごとでも？

.....
じつですネ

カクカクシカジカで
1ヶ月、クビになって1ヶ月〜
さら田舎にも帰れないし..



中世の頃には、駈込寺や縁切寺を中心に
市場経済の徴税システムからも切り離され

お互いできることを与え
できないことを他者からいただくという
文字通りの**自由経済**が
都市社会の片隅に成立していた



知人のお寺で先日こんなことあって〜
相談者がアトオイで.....
しかも、境内の木の蔭で〜とか



カウンセラーでもないのに
無闇に相談に来るもんじゃないよ...

※数年前、浄土宗では門末寺院すべてに「お寺は悩みの相談室」というプレートを配布して、門前に掲示するようお達しを出したのですが、逆に「相談に来られても困る」「対処法がわからない」と返上する寺院が相次いだといいます。(秋田光彦著『葬式をしない寺』p.132 より)

【質問】僧侶だから、答えを出せなければ恥ずかしいと思いついてしまっているのではありませんか？

それは、幻想です！



お釈迦さまや日蓮上人は、辻々で人の悩みに耳を傾け、その人その人に合致した解決方法を瞬時に答えることができたかもしれない。

でも！

数年修行したからって
誰でもそんなふうに
できるはずがない！？



「坊さんなんか相談しても始まらない」
と語るごくごく一部の人よりも、
「誰かに相談したい」、
秘密を守ってくれる誰かに
「話を聞いてもらいたい！」
と切望する人のほうがはるかに多いのです。

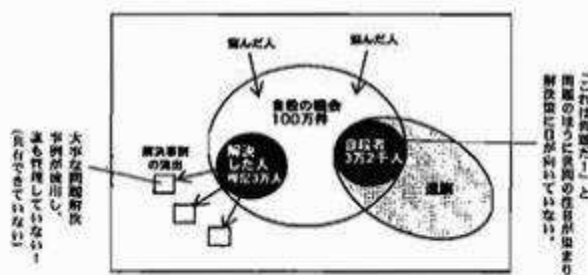


僕が見つけた「生きテク」という
問題解決倉庫を有効に活用してほしいのです。

それは、何度も自殺を考えながらも、
何かのキッカケにより
思い直して生きている人たちの
ナマの声を蓄積したエピソード集。

それを読んで「生きてみるボタン」を押した人、
2012年1月現在、16500人超！

僕は、200人以上の「死にたかったけど生きてる人」たち
の話を聞いてきました。で、自死者3万人超って言うけれど、
その背景には10倍以上の「死にたいほど悩んで
る人」がいるってことに気付いたんです。



みんな3万人超のほうには目を向けるけれど、
「死を選ばなかった97万人」のエピソードは、
誰からも着目されずに終わっている。

その97万人のエピソードこそが
自死者を増やさないための大事なテクニック、
生きるためのテクニック(生きテク)なんです。
でも、その大事な生きるためのテクニックが
流出するいっぽうで、誰も管理していなかった。

それをインターネットのサイト上に集めて、
生きるためのテクニックとして
8つのパターンに分けたのが
「生きテク」です。

問題解決倉庫 =  **生きテク**

恋愛で悩んでる人に、病気の苦しみと闘いながら生きてる人の話をいくらしても、なかなか響かない。
自分よりひどいフラレかたをした人のエピソードを聞くと、ようやく胸に落ちるんです。

借金で悩んでる人には、借金で生き延びた人のエピソードでないと響かない。

たとえば、1億円の借金で死のうと思ってる人に、
「オレ30億借金あったけど生きてるよ」
と誰かが言ったら、一気に視界がひらけて「死ぬのやめました」ってなるんですよ。



お釈迦さまなら
人々の悩みを聞けば瞬時に
その人に響くエピソードが
脳裡に浮かんだはず

でも、個々のお坊さんは、

コンシェルジュでいい

と思うんですよ！

つまり、必要な情報を必要な人へさしのべる役割。
「君とそっくりの悩み、このあいだ読んだよ」と。

解決方法を無数に蓄えた 「ダム」は用意しました。

生きテクは生きるためのインフラ！



でも、サイトには40代までしか来ないんです。

自死者のピークは50～70代ですが、
解決方法がネットの中にあるだけでは、
その人たちを救えないんです！

お寺で「生きテク」の手法を導入してもらえたら、
50～70代の人たちにリーチできるはず。

お寺の強が「ハコ」があって、人がいる

ハコとしての課題

- 人が来ない
- 個人の墓参にとどまる
- 催しをすると「お金を取られる」と敬遠される



「まちの駅」で解決

人の問題点

- 自死念慮や生活苦を体験していない
- 相談にどう答えればいいのかわからない
- 相談者の気持ちに寄り添えない



「生きテク」で解決

生きテクには、**サイト版**と**書籍版**があります。

ぜひ、まちの駅に集まる人たちと

一緒に読んで、エピソードを一緒に探して、
ともに解決していきましょう！

お寺さん、お願いです！
いまずぐ水道を整備して（「まちの駅に登録して」
「生きテク」のダムから解決方法を供給するための
蛇口を開いてください！

【付録コラム】「まちの駅」とは？ Wikipedeia より

地域住民や来訪者が自由に利用できる休憩場所や地域情報を提供する機能を備え、さらには地域内交流・地域間連携を促進する公共的空間である。

具体的には公共・民間を問わず、広く人々が入ることができる施設がまちの駅となり、トイレ・休憩場所等を来訪者に提供するものであるが、現在全国のまちの駅のほとんどは小売店舗である。またまちの駅となった施設内には観光パンフレット等が備えられており、施設の代表者や従業員がまちの案内人となって来訪者に観光地等への道案内を行うこともある。

施設がまちの駅になるには、まちの駅連絡協議会（特定非営利活動法人地域交流センター内）が定めたまちの駅設置要項に基づき同協議会事務局に設置申請をし、認定審査を経て、同協議会への入会が認められることが必要である。そのようにしてまちの駅となった施設はまちの駅の名称を名乗ることができ、さらに同協議会が定めたシンボルマークを内外に掲示することができる。まちの駅の名称およびシンボルマークは同協議会が商標登録しており、それらを無断で使用することはできない。

名称については、まちの駅の「理念を共有することを前提として、位置、地理的条件、運営目的などに応じて、個性ある名称を名付けること」（まちの駅設置要項第3条）とされる。たとえば鹿児島市にある宇宿駅付近にある宇宿商店街が設置した交流施設は、まちの駅宇宿（まちのえきうすき）と名乗っている。ただし、例えば菓子店がまちの駅になり、地域の情報のほか菓子についての情報提供もできるとアピールしたいときは、「菓子の駅」と名乗ることもでき、必ずしも「まちの駅〜」とする必要はない。地域活性化の手段として、注目を浴びている。

「まちの駅」の4つの機能

まちの駅設置要項によれば、まちの駅の機能として以下の4つがあるとされている。

休憩機能 誰でもトイレが利用でき、無料で休憩できる機能

案内機能 まちの案内人が、地域の情報について丁寧に教える機能

交流機能 地域の人と来訪者の、出会いと交流のサポートをする機能

連携機能 まちの駅間でネットワークし、もてなしの地域づくりをめざす機能

【道の駅との違い】

道の駅とまちの駅は、地域への来訪者にトイレ・休憩場所を提供し、観光案内等様々な情報を発信するという機能面ではよく似ている。しかし、まちの駅は以下のとおり道の駅とは違った特色を持っている。

設置主体に制限がない

建設省（現国土交通省）道路局が定めた「道の駅登録・案内要綱」（平成5年2月23日建設省通令第19号）によれば、道の駅を設置することができるのは、「市町村または市町村に代わり得る公的な団体であること」とある。つまり民間では設置することができない。それに対してまちの駅は、行政であれ民間であれまちの駅として必要な基準を満たしていれば設置が可能である。

設置場所に制限がない

道の駅は基本的には自動車運転者のための休憩施設である。したがって、特に設置場所についての限定こそないが、幹線道路沿いに設置されることが期待されており、現実にはほとんどの道の駅がそのような場所に設置されている。これに対してまちの駅は人が休憩したり集ったりする空間であるため、どこでも設置することができる。

設置・運営に際しほとんど費用がかからない

一部には市町村が市民ホール等公の施設を設置し、そこをまちの駅としているところもあるが、ほとんどは民間の商店等が店内の全部または一部をまちの駅として来訪者に提供している。またその場合まちの案内人といっても、店長・店員らが商売の傍ら適宜案内をしたりするだけであるので、専門の職員を置いているわけではない。そのため、設置・運営に多額の投資が必要な道の駅とは異なり、費用がほとんどかからない。

死ぬ技術はもういない、生きるテクを大公開



生きテク

<http://ikiteku.net/>

企画・制作=Ok e i

ひとなみ

<http://hitonami.net/>

南無妙法蓮華經

合掌